

研究における情報公開

冠動脈疾患が疑われ心筋タリウムシンチグラフィーを

施行された方の予後に関する観察研究

1. 研究の対象

2011年1月1日-2019年12月31日に当院心筋タリウムシンチグラフィーを施行された方

2. 研究目的・方法・研究期間

心血管病特に冠動脈疾患は本邦の主要な死因の一つであり、高齢化社会において今後もその増加が予想されます。近年、冠動脈造影が確立されておりますが、心筋シンチグラフィーによる冠動脈疾患の検査は、確立された重要で安全な検査です。40年以上前から多数の報告がありますが、最近では報告が少なくなっております。さらに、当院では多くの施設とは異なる手法で検査しております。しかしながら、実臨床の現場においては、それら一般的なものを以外にも考慮すべき詳細な因子が数多く存在するのが事実です。特に近年は高齢化社会や生活背景の多様化などから、より現場で考慮すべきことが増加しています。例えば現在様々な分野でフレイル（脆弱さ）などが注目されてはいますが、冠動脈疾患と予後の関連などは十分に明らかになっていません。今後は、元々の疾患や病変、検査結果だけでなく、そういった周辺の要素も考えて患者さんの管理を構築していくことが重要と考えられます。

本研究の目的としては、心筋タリウムシンチグラフィーを施行された患者さんの長期的な予後について、従来のような一般的な因子だけでなく、臨床現場に関わる詳細な因子を含めた関連を検索することになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料・情報：病歴、治療歴、カルテ番号、血液 等

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
一宮市立市民病院循環器内科 〒491-08558 一宮市文京 2-2-22 TEL0586-71-1911

担当者：梅本紀夫

研究責任者：一宮市立市民病院 循環器センター センター長 志水清和